

優秀賞

プログラミング教材「ぶろっコード」



受賞した政近 怜汰さんと大森俊弥さん

東京農工大学 政近 怜汰
未就学児・小学校低学年向けプログラミング教材「ぶろっコード」は、ハードウェアのみで構成され、直感的でわかりやすいことが特徴。プログラミングの基本的な概念のそれぞれを「ぶろっ」という小型のハードウェアに割り当て、複数ぶための教材の使い方、その点、ハードウェアから構成されるプログラミング教材を利用した場合、子どもたちの訴求力や学習の継続意欲が高まることは、プログラ

ハードのみで構成 直感的に概念学習

ミング教育の普及に関する調査研究からも明らかになっている。「ぶろっコード」の強みは①ハードウェアのみで構成され、直感的にプログラミングの概念を学ぶことができる②プログラムの動きが光りや音などの現実の動きとして可視化されることで、視覚、聴覚、触覚から面白さ、楽しさを感じることができ③プログラミング以外の分野への拡張性④の3点で、③については現在試作品を製作中。

日刊工業新聞社賞

選書SNS～ネット書店を選書の社会基盤に～



東京都立大学 伊藤 大陽
電子書籍の売買を仲介するデジタル版の書店、出版産業そのものをデジタル変革(DX)する。選書サービスとサブスクリプション(定額制)書籍配信サービスを組み合わせ「ネット書店」を事業として成立させる。出版業界がデジタル本の書店営業を展開できる時代と、読書家が読書をオンライン上で完結させられるデジタル書店を創出する。

デジタル本の「選書」をSNSで発信

ることで、この社会課題を解決する。初期は選書サービスの立ち上げに特化する。具体的には読書の動機や目的に合った本に出会える「選書SNS」を立ち上げる。同サービスは書店員がインフルエンサーとなりおすすめの本の電子書籍を投稿する。利用ユーザーは推しの書店員をフォローし、選書の「追っかけ」ができるほか、対価として選書時に広告を閲覧する。インフルエンサーは、フォロワーへの影響力を形成でき、広告収入の一部を成果報酬として受け取ることができる。次にサブスクリプションサービスを開始し、最後にネット書店の収益化と世界展開を目指す。

優秀賞

介護従事者も私たちが幸せな世の中の実現



東京大学 早川 洸海
居宅介護支援ケアマネジャーの定型業務を改善することで業務量を削減し、人手不足の解消を目指す人工知能(AI)介護システムを開発する。ケアマネジャーの定型業務に焦点を当てたことが特徴で、業務の遂行をサポートする。仕様は①ヒアリング効率化システム②AIケアプラン作成システム③申請書類作成システム④申請書類に必要書類管理は

定型業務に焦点 AI介護システム開発

AIが行い、書類不備リスクや書類作成に係るケアマネジャーの作業負担を軽減する。これらのシステムにより、ケアマネジャーの業務全体の効率化と質の向上を目指す。ケアマネジャーの業務は被介護者と対面して行う「対人業務」と、一定のプロセスに従って行う事務作業である「定型業務」に大別される。ケアマネジャーは他の介護職種と比較して定型業務の量が多く、精神的負担が大きいため。また居宅介護は施設介護と比べ、属人性や個別性が高くなるという理由から、業務難易度が高くなる傾向がある。居宅介護に特化したAIシステムを開発することで、これらの問題を解決する。

りそな銀行賞

日本文化を世界へ！オーガニック抹茶ブランドの越境EC事業



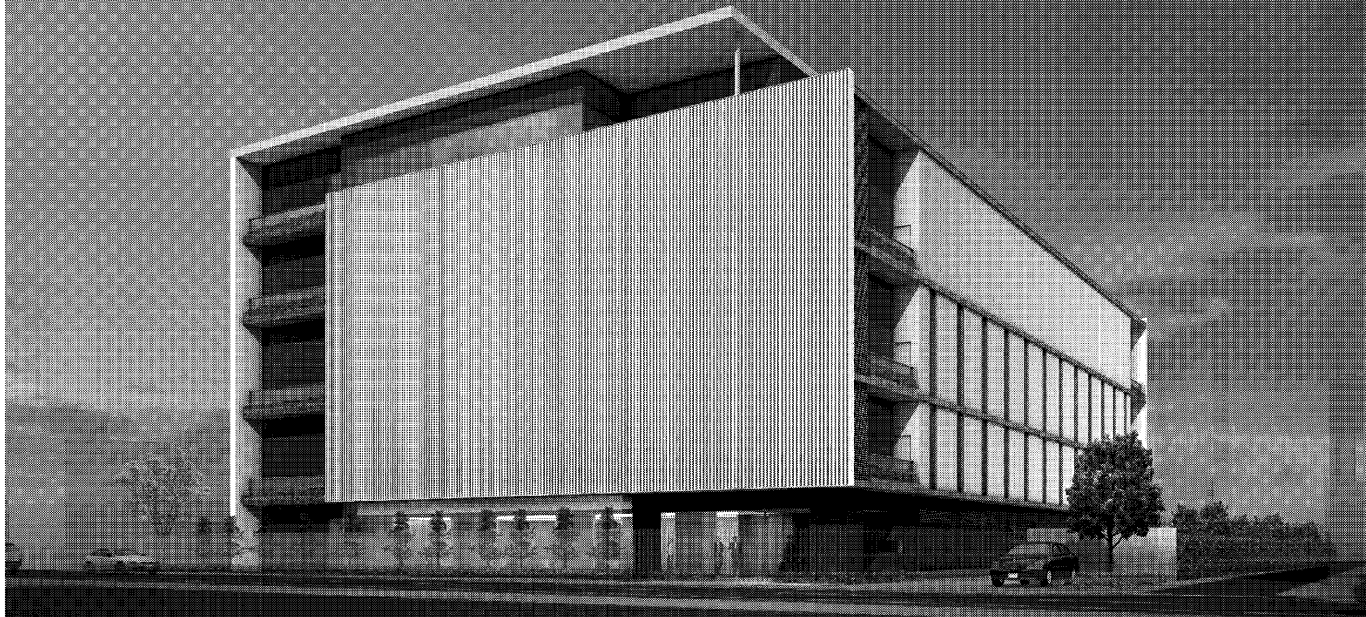
早稲田大学 加藤 憧
海外向けにジャパンオーセンティックなサステナブル抹茶ブランド「MATCHA S TYLE」の提供を2024年12月に開始した。世界の抹茶市場は成長しているものの、海外で飲まれている抹茶は海外ブランドが多く、日本産は浸透していない。そこで日本産有機栽培の抹茶を日本の文化と結びつけブランド化していく。販売は自社のECサイトやアマゾンなどの

日本産有機栽培抹茶をブランディング

ECモール、卸業者など、初期からマルチチャネル戦略を展開。インスタグラムやティックトックなどを活用したマーケティングで、ギフト市場やアンバサダーコミュニティの形成を目指している。このほか30年までに20種類以上の日本文化ブランドを世界に展開することを目指す。現在は伝統的な日本の柄を使ったアクセサリブランドや、ゆずや梅など日本の植物を使ったスキントケアブランド、抹茶ラテブランドなど、八つのブランドを所有。今後も社内で生成人工知能(AI)の活用基盤を作っていくことで、持続的に新規ブランドを立ち上げる体制を整えていく。

粒ぞろいのビジネスプラン

ITで確かな成長と成功を Assuring Growth and Success with IT



AGSは、強固なファシリティと最新のセキュリティを備えた都市型データセンター「さいたまiDC」を構え、金融・公共・法人の各領域で、コンサルティングからシステム構築、保守・運用まで、幅広い分野でサービスをご提供しています。高品質・高付加価値のサービスで、「お客様にとって最も信頼の厚いITパートナー」を目指しています。



AGS株式会社
本社：〒330-0075 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25
TEL：048-825-6000 FAX：048-822-7337
www.ags.co.jp AGS 検索

金融+で、未来をプラスに。RESONA GROUP

お役立ち情報も、法人口座も、りそな。詳細は当社HPをご覧ください。

法人口座開設

来店不要で口座開設。月額利用料0円の法人アプリやビジネスを広げる様々なサービスで経営をサポート。

りそな銀行 法人口座開設 検索

※WEB完結対象でないお客さまはご来店が必要になる場合もございます。



あなたのビジネスに なるほど!を

法人のお客さま向け情報発信サイト りそなBiz Action

りそな BizAction 検索

https://www.resona-biz.jp/



第21回キャンパスベンチャーグランプリ東京 受賞者				
受賞内容	氏名	大学名	チーム名	プラン名
大賞	古澤 美典	筑波大学大学院	やさしいロボット研究所	仮眠支援ロボット『ナップ』
関東経済産業局長賞	瀬戸 晴登	信州大学		宇宙探査ローバのモジュール開発「Astro Pioneer」
優秀賞	早川 洸海	東京大学大学院		介護従事者も私たちも幸せな世の中の実現
優秀賞	政近 怜汰 大森 俊弥	東京農工大学		プログラミング教材「ふろっコード」
りそな銀行賞	加藤 憧	早稲田大学	株式会社アルテム	日本文化を世界へ！オーガニック抹茶ブランドの越境EC事業
ストライク賞	川邑 直央	慶應義塾大学		御朱印ロード
MIT賞	清水 陽向 長尾 亮佑 池原 大智 小黒 慈深	明星大学		日本の工芸品、ハンドメイド品を世界へ。販売と支援を一体化。
日刊工業新聞社賞	伊藤 大陽	東京都立大学	Do OK	選書SNS～ネット書店を選書の社会基盤に～
奨励賞	高橋 花 赤西のどか 飯島 伸治 佐藤 嵩悟	創価大学	打ち上げはガトージョコラで	Webサイト「まっさらキャンパス」
奨励賞	齋田 りお	開志専門職大学		ボイマ「漫画家の卵×声優の卵で形作るボイス漫画サービス」

第21回キャンパスベンチャーグランプリ東京 審査委員	
【審査委員長】	各務 茂夫（東京大学大学院 工学系研究科教授）
【特別審査委員】	濱口 慎吾（経済産業省 関東経済産業局 地域経済部 産業技術革新課長）
【審査委員】	阿部 博（あずさ監査法人 常務執行理事 企業成長支援本部 インキュベーション部長 パートナー）
	新井 正樹（りそな総合研究所 執行役員）
	粟井 邦彦（AGS 常務執行役員 法人事業本部長）
	市川 隆治（ベンチャーエンタープライズセンター 理事長）
	上田 裕子（東京商工会議所 理事 中小企業部長）
	鈴木 芳憲（ストライク 未来戦略室 室長）
	田中 豊（アートグリーン 代表取締役社長）
	田村 真理子（日本ベンチャー学会 理事・事務局長）
	冬野 健司（日本MITベンチャーフォーラム 理事）
	井上 渉（日刊工業新聞社 取締役 メディア本部編集局長）
【アドバイザー】	岡田 基幸（浅間リサーチエクステンションセンター 専務理事・センター長）
	呉 雅俊（TNPパートナーズ 代表取締役社長）
	伊藤 智久（日本MITベンチャーフォーラム 理事）
	浜口 基周（あずさ監査法人 企業成長支援本部 インキュベーション部 テクニカル・ディレクター）
	森 滋哉（あずさ監査法人 企業成長支援本部 インキュベーション部 シニアマネジャー）
	須藤 章（あずさ監査法人 企業成長支援本部 インキュベーション部 マネジャー）
	堀川 翼（あずさ監査法人 企業成長支援本部 インキュベーション部 マネジャー）
	河野 諒平（あずさ監査法人 東京第1統括事業部 スタッフ）
（2024年12月時点、順不同、敬称略）	

MIT賞

日本の工芸品、ハンドメイド品を世界へ。販売と支援を一体化。

明星大学 清水 陽向

クリエーターに販路提供 成長を支援

クリエーターの制作環境と作品の販売機会を提供することを目的とした支援プラットフォーム「Art Title」を立ち上げ、2024年1月から制作スペースや専門機械の貸出事業を開始した。もうひとつの課題である「作品の効果的な販売手段」を提供するため、オンライン販売チャネル「Artia space.jp（Art SJ）」と、オンラインショップ「Artia space.com（Art SJ）」をスタートした。

ASJは訪日外国人観光客がターゲットとして、クリエーターと外国人観光客を結びつける新しい販路を提供する。期間限定でオンラインストアを開催し、通訳キャストのサポートにより言語の壁を越え、作品の魅力を効果的に伝えることができる。また直接外国人観光客の声を聞き、収集したデータを基に製作物の改良やプロダクト開発を行い、その成果をASCで販売する流れを確立する。この仕

組により、クリエーターが抱える販売チャネル不足という課題を解決し、新たな収益源を開拓する。

このほか国内倉庫での作品の保管・国際配送サービス、クリエーターの成長を促進するためのマーケティング支援動画などのサービスも提供する。

Art Titleは、クリエーターの経済的自立支援、日本文化の発信と国際交流の促進、クリエーターの成長支援ブランド形成に協力していく。

奨励賞

ボイマ「漫画家の卵×声優の卵で形作るボイス漫画サービス」

開志専門職大学 齋田 りお

ボイスコミックで新市場を創造

才能があっても埋もれている声優志望者、漫画家志望者が活躍できる可能性を高める場として立ち上げたのが「ボイマ」だ。漫画家の卵が描いた漫画に、声優の卵が声をアテレコしてボイスコミックを制作する。クリエーター側は作品の閲覧数に応じて広告収入が入り、投げ銭、コンテンツ販売などで収益を得ることができる。有料でクリエーターの実力で合わせてオンラインで指導するサポートプランも用意した。

就活生向け企業紹介ボイスコミックの受注は、新潟経済同友会と連携して行う。企業の意向をくみ取りながらボイスコミック作品を見て就職が決まった際は、発注先企業から漫画制作費とは別に人材紹介手数料を徴収する。漫画制作費は1件

作成し、漫画が出来上がり次第、声優の卵がアテレコし、プロの声優の指導のもと完成させる。出来上がった作品は新潟経済同友会に送り、新潟経済同友会が就活生向けに発信する。ボイスコミックを制作することで優先的に仕事の発注を受けることができるとして、ボイスコミックは新しい分野で、現状競合は1社のみ。同サービスは誰でも作品を投稿することができることが特徴で、新規市場を創造する。

ストライク賞

御朱印ロード

慶應義塾大学 川邑 直央

寺社仏閣と連携 旅行支援アプリ提案

訪日外国人や若年層を中心に日本の寺社仏閣に対する関心が高まっている。日本の歴史と深く関わってきた伝統文化の継承と発展のため、御朱印を活用した旅行支援アプリ「ロード」を提案する。また地方の寺社仏閣の活性化を支援し、地域経済の発展に寄与することも目指している。

同プランの優位性は、①寺社仏閣と直接連携することで、全国の御朱印情報を網羅し、常に最新の情報を提供すること、②時間や予算、移動手段などユーザーの好みや条件に合わせて、最適な巡礼ルートを人工知能（AI）が提案する。機械学習によりユーザーの行動パターンを学習し、より精度の高い提案が可能になる③スマートフォンをかざすと歴史や御朱印情報が表示される拡張現実（AR）機能を実装する。ガイドブックが不要になり、より没入感のある体験を可能にする④ユーザー同士で情報交換や体験共有ができる会員制交流サイト（SNS）機能を搭載し、成に寄与していく。

新たな交流の場を創出する⑤訪日外国人向けに多言語対応を行い、インバウンド（訪日外国人）需要にも対応する。

日本の寺社仏閣は15万件以上で、コンビニエンスストアの約3倍。御朱印ブームを背景に寺社仏閣観光市場は拡大傾向にある。日本の伝統文化と最新技術を融合したサービスで、地域創生・地域経済活性化への貢献、インバウンド需要への対応、コミュニティ形成に寄与していく。

奨励賞

Webサイト「まっさらキャンパス」

創価大学 高橋 花

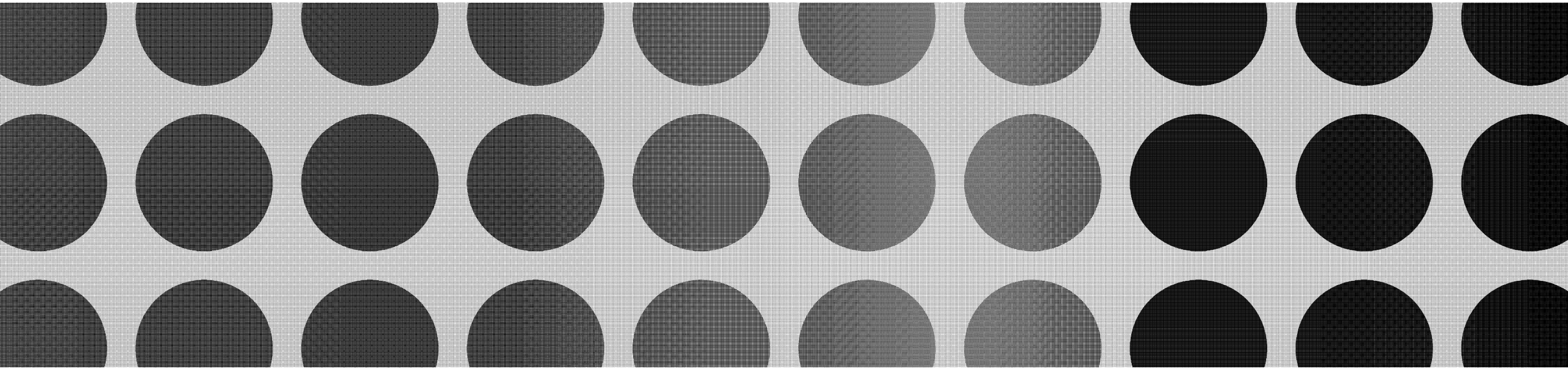
フリースクールと利用者 マッチング

東京都内のフリースクールと不登校生徒を持つ家庭のマッチングサイト「まっさらキャンパス」を提案する。利用者とフリースクールの課題を解決し、ミスマッチを減らすことで、子どもたちが安心して学ぶことができる環境を提供する。

フリースクールとは、不登校の子どもに学習活動・教育相談・体験活動などを行う民間施設で、全国に約474の団体施設があるという。しかし不登校生徒と保護者が、フリースクール側も、子どもの能力などの予測が不可能なか、生徒募集の周知が困難などの問題を抱えている。

「まっさらキャンパス」は、保護者向けページと子ども向けページに分かれる。保護者向けページは、複数案件指定付き検索機能により、情報を入手しやすく、ミスマッチを防ぐ。子ども向けページは、フリースクールの側面から、生徒募集の周知が困難などの問題を抱えている。心理テストやミニゲームなどで子どもの性格や特性、嗜好を把握し、子どもの適した居場所づくりに役立てる。

ターゲットは、東京都に住む不登校の小学生とその保護者。東京都で活動を行うフリースクール。東京都は全国で最も不登校者が多く、都がフリースクールに対して助成制度を始めたからだ。



環境が企業価値向上のカギ

日刊工業新聞社が主宰する「グリーンフォーラム」は、産業界として地球環境保全に取り組むことを目的として1991年に設立された研究会です。有識者や行政関係者らの協力を得て、環境情報の収集・調査・研究、新聞やインターネットによる情報発信、環境事業の広報のサポートなどを展開しています。「環境が企業価値向上のカギ」を掲げて活動し、脱炭素・循環型の経済社会システムの構築を目指しています。

